

ユーザーアカウントを削除する

パソコンに登録されている、既存のアカウントを削除して、そのアカウントからのログイン、パソコンの使用をできないようにする。

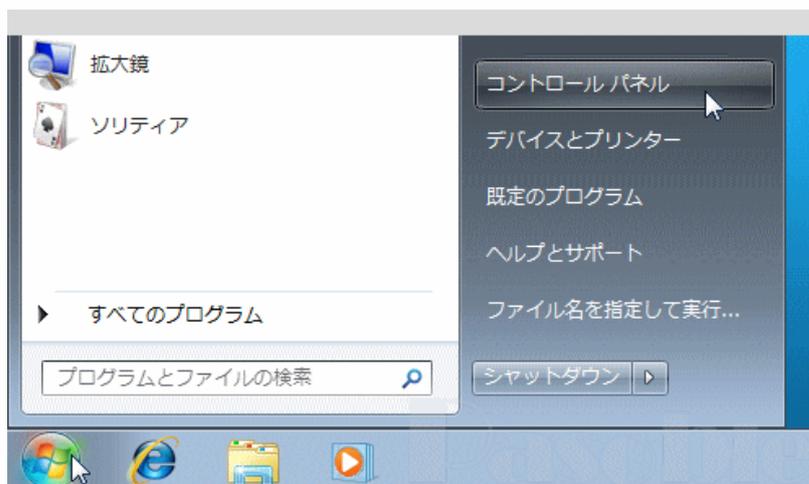
この作業は管理者制限をもつユーザーでなければ作業はできない、また現在ログインして作業をしている、アカウントの削除は不可。

ユーザーアカウントの削除には、削除対象のアカウントによって作られたファイルやフォルダーなど全て削除するか、そのままパソコン内に保持することもできます。

ただし、削除を指定しても、アカウント専用フォルダー以外の場所に、保存されたファイルやフォルダーは削除されません。

なお、削除されたアカウントのフォルダーやファイルにアクセスする場合、通常の設定では管理者 (Administrator) 制限をもつユーザーでないと、データに対して全ての操作ができない。

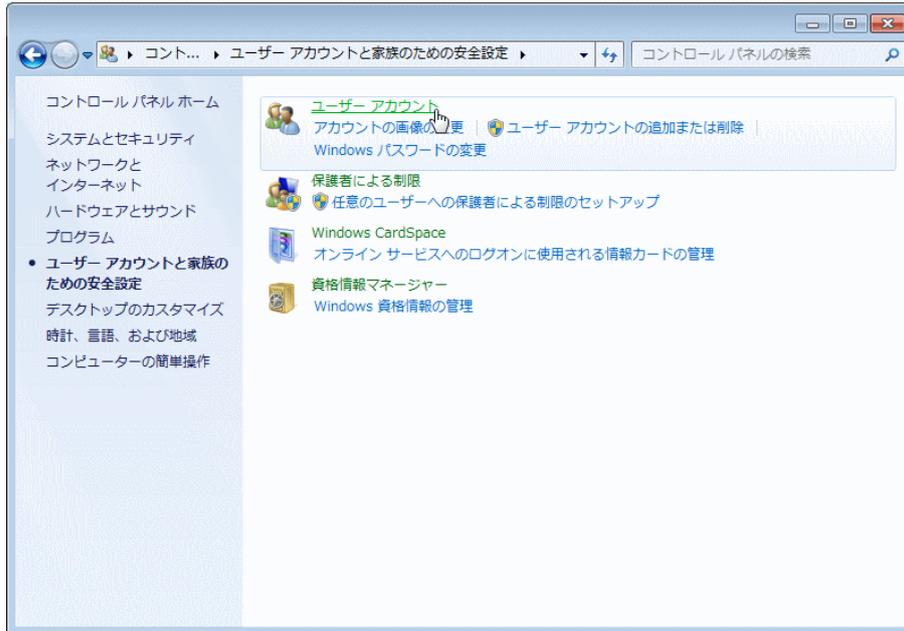
1. [スタート]→[コントロールパネル] をクリックします。



2. [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] をクリックします。



3.[ユーザーアカウント]をクリックします。



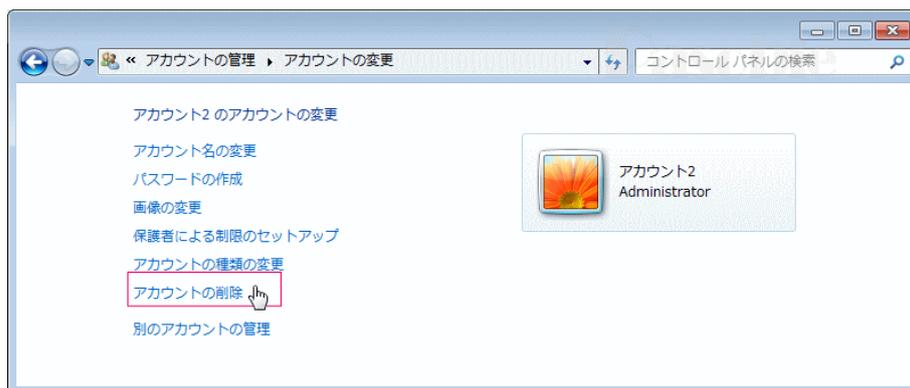
4.[別のアカウントの管理]をクリックします。



5.削除するアカウントをクリックします。



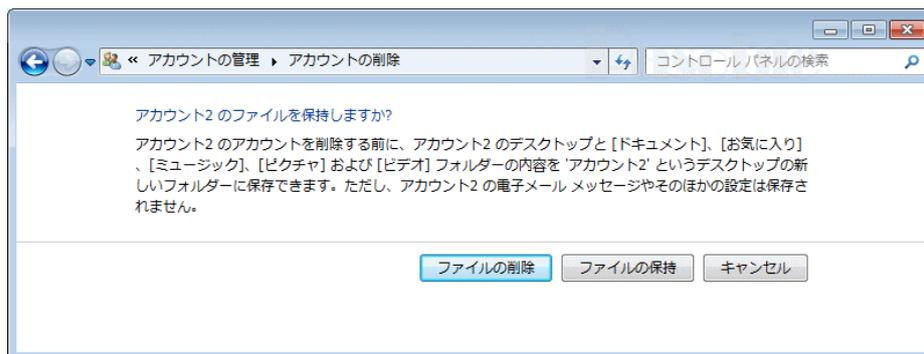
6. 「アカウントの削除」をクリックします。



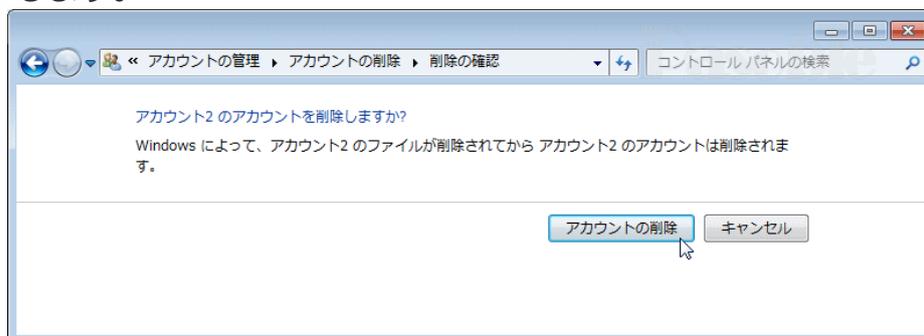
7. アカウントの削除後も、削除されたアカウントのファイルやフォルダー、お気に入りのデータなどの保持する場合は、「ファイルの保持」をクリックし、保持が必要なければ「ファイルの削除」をクリックします。

ここで削除される「ファイル」とは、ユーザーフォルダーの中にある、アカウント専用フォルダー及びその中にある全てのデータです。

削除するアカウントによって、アカウント専用フォルダー以外の場所に、保存されたファイルやフォルダーは削除されません。



8. もういちど確認画面が現れますので、削除を続行する場合「アカウントの削除」をクリックします。



削除が完了すればアカウントの管理画面へ自動で戻ります。

「ファイルの削除」を指定した場合、アカウントのフォルダー内の容量が多いとそれだけ、時間がかかります。クリック後に何も変化がないように見えますが、削除作業が完了した時点で、自動で（5.）の作業ページ「アカウントの管理」に戻ります。削除したアカウント無ければ完了です。

NOTES :

ディスクスペースに余裕があるなら、ユーザーアカウントの削除で「ファイルの削除」を考えている場合、とりあえず「ファイルの保持」を選択し、再確認後、不要なら後で削除したアカウントのフォルダーを、手動で削除することもできます。

また、削除の実行をしたときに「別のプログラムがこのフォルダーまたはファイルを開いているので、操作を完了できません。」とメッセージが出て、削除できない場合は、パソコンを再起動してから削除をします。

アカウントのファイルがある場所は、Windows を通常にインストールしたのであれば、「スタート」→「コンピューター」→「ローカルディスク(C:)」→「ユーザー」のフォルダーアイコンをクリックすれば、アカウント名と同じフォルダーです。

但し、途中でアカウント名の変更をしている場合は、初期に設定したアカウント名のフォルダー名になります。